

中学部校内実習の紹介

11月12日(水)から11月21日(金)まで中学部の校内実習を実施しました。「しののめ整備」、「はまなす製菓」、「よねしろメディカル」の3つの模擬会社の中から、2つの実習先に配属され、それぞれ4日間の実習を行いました。実習を通して、働く際の基本的なマナーや態度を意識して活動し、事後学習では自分の得意、不得意を考えるなどして自己理解を深める機会となりました。

しののめ整備



花の育苗用ポット洗いや窓枠清掃の作業に取り組みました。ポット洗いでは前後半のグループ合わせて1522個をきれいに洗いました。窓枠清掃では、普段は清掃しない箇所を歯ブラシや綿棒などを使い丁寧に清掃しました。

実習の振り返りでは、きれいになった窓枠を見た他学部の教員から感謝されたことで、達成感を感じたことや、「窓枠の汚れを残さずきれいにすることで、心が穏やかになりました。」など、取り組んだ仕事への成就感を発表するなど、「働く」経験を通した学びをまとめました。

はまなす製菓



お菓子の包装パック作りの作業に取り組みました。食品に関する作業のため、手洗いや三角巾の着用など衛生面を意識して丁寧に作業に取り組みました。

前後半のグループで、合わせて3410個のパックを作りました。店頭でお菓子を購入するお客様の笑顔を想像しながら、パックの折り目がずれないように折ったり、テープをまっすぐ貼ったりして、丁寧に作業に取り組みました。

よねしろメディカル



医療機器のリサイクル作業に取り組みました。注射器を分解する作業に集中して取り組み、前後半のグループで、合わせておよそ300kg(約4万本)分の注射器を分解しました。分解された注射器が他のプラスチック製品としてリサイクルされていくことを意識し、資材の分解から仕分け作業までを正確にできるように努めました。